

群 教 セ	G15 - 01
	令元.271集
	中-キャリア

# 令和元年度長期社会体験研修報告書

## 研修先：有限会社 農園星ノ環

長期社会体験研修員 原 新

### I 研修内容

#### 1 研修先の概要

農園星ノ環は、赤城山の北麓、標高約750mの高原に広大な畑が広がる群馬県昭和村の農園であり、生産性の高い農業経営を目指す農業法人である。戦後の原野から農業の土台を作り、育て上げた豊かな畑では、レタス、小松菜、ホウレンソウなどの高原野菜を主に栽培している。「農から生まれる喜びの種を蒔き続けその実りを共有する」という企業理念の下、農業の力で社会的課題を解決することをミッションとして新たな価値を提供している。

#### 2 研修先での主な研修内容

##### (1) 生産管理に係る研修【4月1日～3月25日】（研修場所：昭和村を中心とした各地農場）

レタス、小松菜、ホウレンソウなどの露地栽培を主とした農作物の栽培と収穫を行った。除草やネット張り、農作物の品質や生産性の向上につながる管理作業を通して、消費者を意識して仕事をすることができた。さらに、収穫後のパッケージングから農業協同組合への出荷作業までを経験することで、農作物の生産から流通まで、農産物の生産管理全般について幅広く学ぶことができた。

##### (2) 経営に係る研修【4月25日、9月18日、1月7日】（研修場所：農園星ノ環）

露地栽培チームに所属し、栽培に関わる業務を行うとともに定期的に全社員で行う会議に参加した。生産高や収益の状況など、年度や月別でデータを比較して、経営上の課題を見付け、その原因や改善案などを検討するなど、業務改善に対する意識の高さを実感した。また、外国人技能実習生に対する実践的な研修の様子を間近で見ることができた。

##### (3) 連携機関での研修【2月】（研修場所：株式会社野菜くらぶ）

農作物を集荷し、各地へ発送する作業を行った。多くの農家から出荷された様々な農作物が全国各地に流通していく様子を、作業を通して実際に理解することができた。また、商品の品質管理の重要性についても学んだ。

#### 3 キャリア教育実践

##### (1) キャリア教育資料について

社会で求められる力にはどのようなものがあるか、その力をどのように身に付けていけばよいかを理解する資料として、農業を題材とした中学生向けのリーフレットを作成した。具体的には、農業の役割から仕事の内容を紹介し、社会で必要となる力（やり抜く力やコミュニケーション能力など）を、学校生活を通して身に付けられることについて、学校と社会のつながりから理解できる内容とした。

##### (2) 実践の概要（沼田市立沼田中学校）

###### 授業実践

題材名 「職場体験学習から学んだことを通してこれからの学校生活を考える」（学級活動）

対象 第2学年1～3組 108名

農園星ノ環での研修内容を基に、学ぶことや働くことを理解させ、2年次に行う職場体験学習に向けて、自分自身を見つめ直し、自己実現のために学校生活を改善させることをねらいとした授業を設定した。本時は、実際に職場体験学習で得た経験を基にして、今後の学校生活をどのように改善すればよいかを考えさせた。グループワークで他の生徒の意見や考えを知り、それらを踏まえて今

後の自身の在り方を考え、意見交換を行うことができた。また、研修先で働く外国人技能実習生の職業観を紹介したことで、生徒に自分自身の将来像を真剣に考えさせることができた。

## II 研修成果

### 1 生産管理に係る研修について

研修では、農作物の収穫を中心に農業全般に関わり、農作物の生産管理を理解することができた。農作物の育て方や管理の仕方など、直接、農作物に触れることで身をもって管理作業について学び、農業の役割や農業の喜び、作業の大変さなどに気付くことができた。農作物で価値を創り出すことは、消費者のためであるとともに、会社や社員にとって「働く意義」や「生きる活力」などの価値を生み出すことにもつながっていた。実務研修で得た経験を基に、生徒に働く意義を意識させながら「主体的にキャリアを形成する力」を養っていきたい。

### 2 経営に係る研修について

業務を効率化するために、チームを編成したり、社員研修や社員交流を積極的に行ったりするなど会社として組織的に取り組むことで、農作物の価値を高め、消費者のニーズに応えることができると改めて実感した。このような経営活動から、会社への信頼、農作物の需要が高まり、会社の成長につながっていることを理解した。また、外国人技能実習生に対する教育は、自国で夢をかなえるための実践的な知識・技術の習得を図るとともに、会社の利益を生み出す貴重な人材であることを学んだ。外国人技能実習生の職業意識、企業の業務改善に対する取組等について、校内研修やキャリア教育に還元したい。

### 3 連携機関での研修について

株式会社野菜くらぶは、生産者と消費者をつなぐための重要な流通の拠点であることを研修から学んだ。生産者の立場で作業をしている際は、生産に求められる基準が高いのではないかと感じていたが、野菜くらぶの研修を通して、商品としての品質保持がその地域の農作物の価値を高めることにつながっていることを実感した。学校教育においては、生徒に社会で求められる力をしっかりと身に付けさせることであり、教育者として責任をもって生徒に対して指導を行いたい。

### 4 キャリア教育実践について

企業研修の内容と生徒の職場体験学習を関連付け、生徒が行う職場体験学習が将来の職業選択のきっかけとなり、今後の学校生活の改善につながるような学習活動として授業実践を行った。生徒は、職場体験学習での気付きから、将来を見据えた学校生活の過ごし方を考えたことにより、将来の自分像を描きながら、具体的な目標をもち、前向きに学校生活を送るようになったと実感している。今後も、職場体験学習の事前・事後学習の充実を図り、様々な学習活動と関連させて取り入れるなど、職場体験学習の活用を更に考え、生徒のキャリア形成を支援していきたい。

## III まとめ

農作業全般に関わる研修を受け、生活の基本である食を作り出す農業の重要性を知ることができた。また、外国人技能実習生と共に働く中で、日本の農業の生産方法や経営方法について学び、自国での農業経営に夢と希望をもって働く若者の姿を見ることができた。これからの社会は、農業だけでなく将来をグローバルな視点で捉え、行動する人材が必要である。農園星ノ環の会社の方針、何か新しいことを生み出していこうとするエネルギーは、学級経営に通じるものがあり、とても参考となった。今後は本研修での経験を生かし、生徒の学習指導やキャリア発達の支援のため貢献していきたい。

(担当指導主事 道上 行彦)